

平成26年度市民後見人養成講座(第7期)のカリキュラムの概要

座学(74時間)

第1ターム:成年後見に関する基本的な知識の習得

1. 日本の高齢社会

- ・高齢社会の現状
- ・高齢社会のあり方

2. 成年後見の制度・法律

- ・市民後見概論
- ・任意後見制度
- ・法定後見制度

第2ターム:後見に関連する制度や後見の実務・事例等に関する知識の習得

1. 対象者の理解と接し方

- ・高齢者の理解
- ・認知症の理解
- ・精神・知的障がい
理解
- ・対人援助の基礎
- ・高齢者・障がい者の
住まいと暮らし
- ・対象者理解と接し方

2. 成年後見に関連する制度・法律

- ・年金制度
- ・医療・介護保険
- ・生活保護制度
- ・税務申告制度
- ・民事信託制度
- ・障がい者の支援と施
策

3. 成年後見の実務と事例

- ・後見人の実務
- ・後見活動の事例

4. 民法の基礎

- ・財産法の基礎
(契約・代理)
- ・家族法の基礎
(相続・遺言・遺産分割)

5. 後見実務の演習と討論

- ・後見実務の演習
- ・後見事例等に関する
グループ討論

6. 市民後見NPOの役割と実務

- ・現状と課題
- ・立ち上げの実務
- ・NPO法人の実務と運
営

第3ターム:成年後見に関する応用的・発展的な知識の習得

1. 後見関連機関の役割と実務

- ・家庭裁判所
- ・消費者保護機関
- ・金融機関

2. 市町村・地域の現状と事例

- ・市町村や社協の取
り組み
- ・地域包括ケア
- ・地域福祉

3. 成年後見各論

- ・未成年後見
- ・後見実務の現状
- ・諸外国の成年後見
制度

4. 総括的講義

- ・理解度確認テスト
- ・実習課題の成果発表
- ・成年後見の展望と
課題

実習(50時間)

第1～3ターム:体験実習等を通じて実践的な経験を得る(座学に並行して実施)

1. 必修課題(30時間)

- ・施設体験実習(10時間)
介護施設や障害者施設等へのイン
ターンシップ
- ・後見実務演習(10時間)
後見開始申立書等の作成
- ・地域の社会資源の把握(10時間)
地域の行政機関や社協、医療・介
護施設等の調査・ヒアリング等

2. 選択課題(20時間)

- ・市民後見NPO立ち上げ(20時間)
- ・親族後見等申立て(20時間)
- ・啓発・相談活動(20時間)
- ・業務上の課題に関する活動(10時間)
- ・任意後見契約の作成(10時間)
- ・エンディングノートの作成(10時間)
- ・親心の記録の作成(10時間)

※上記から課題を任意に選択
※上記以外に自分で課題を設定可能